

ぼくのノート

⑥7 海は誰のもの

高度経済成長期、工場や生活の排水は魚や海人の生きる場をヘドロの海とし、人々の命を蝕む有機水銀をも垂れ流し続けた。プラゴミによる環境破壊も、世界中がその過ちを反省し、海を守るために多くの個人や企業が努力を続けている。

豊かさをもたらすはずの科学技術への過信が原発事故を起こした。もしそうだとしたら、自らが産み出した汚染水を薄めて海に流すことは、科学技術の敗北宣言と言える。

十二年たっても收拾できない事故を起こして、さらに原発政策を推進する様は、武器を手にした集団の反省なき暴走を想わせる。

古来から、生きるものに豊かさをもらってきた母なる海。現代風に言うなら、何人にも私有されず、すべての人に属する、社会的な共通資本である海。そこをゴミ捨て場と考える人間への代償は、はかり知れないであろう。



認定NPO法人 いわき放射能市民測定室

たらちねクリニック

院長 藤田 操

〒971-8162 福島県いわき市小名浜花畑町11-3 カネマンビル3階

Tel.0246-38-8031 診療科目 内科・小児科／診療時間 午前9時～12時・午後2時～5時(受付は30分前)／土・日・祝日休診